

去る9月15日（水）、大和郡山市に竣工した大和ハウスグループ「みらい価値共創センター「コトクリエ」の見学会を行いました。



コロナ禍もあり、少人数の募集となりましたが11名の参加者が集まり、検温、消毒を行い、午後1時半より見学会は始まりました。建物は大きく風のゾーン、太陽のゾーン、水のゾーンの3つのゾーンに分かれており、まずは太陽のゾーンにある太陽のホールにおいてガイドの方より建物の概要を教えてくださいました。建物のコンセプトは「森の会所」となっており、議論・発表を通じ、新しい価値を生み出す場所である「会所」をコンセプトに設計されたとのことでした。

また、建物は平城京の南端に位置していることから発掘調査において奈良時代の住宅跡が多く出土したこともあり、外観は遺跡が盛り上がったような曲面が多い非常に面白い形状となっていました。

太陽のホールで概要の説明を受けた後は実際建物の中をそれぞれ説明して頂きました。

それぞれのゾーンではそのゾーンの位置がわかるモニュメントが置かれており、自分が今、どのゾーンにいるかが分かりやすくなっていました。風のゾーンではスロープを上りながら建物のメイキングレビューが映像や模型で示されていました。建物の中には多くのスタジオやミーティングルームが配置されており、それぞれの部屋を結ぶ廊下には壁をホワイトボードとして使えるフリースペースもあり、自由な意見交換ができる場が広がっていました。2階には創業者フィロソフィーギャラリーがあり、創業者の言葉からイメージした芸術品などが展示されていました。

続いて水のゾーンを案内して頂きました。水のゾーンに入るには水の小径とよばれる廊下を通り、水の映像、音響演出により落ち着いた気持ちとなりました。水のゾーンには多くの植栽や影のできない光膜照明などにより、より深く集中できる研修室となっていました。また、建設地から出土した平城京の古井戸がそのまま展示されていました。

最後に奈良時代の作庭手法を取り入れたまほろばの庭や宿泊室などを見学しました。太陽のホールに戻ってからアンケートの記入を行い3時に見学会を終了し、入口において記念撮影を行い、無事見学会を終えました。

（記：高田支部 植田康夫）